

建築士と防犯設備士の両方の立場から見た防犯対策について

静岡県防犯設備士生活安全協議会 会員
一級建築士事務所 NBDesign (エヌ・ビー・デザイン) 代表
防犯設備士・一級建築士
くらしの防犯伝導士 (静岡県警察本部長委嘱)
静岡防犯まちづくりアドバイザー (静岡県知事) **杉山 克秀**



私の職業は建築士で建物を設計し、工事監理を業務としています。建築基準法の第一条に『この法律は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もつて公共の福祉の増進に資することを目的とする。』という目的が書かれております。建物は健康と財産を守る必要があります。建物が地震や台風などの風雨や火災などで倒壊したり、飛散したりしないようにするために造ることは重要です。また、健康に過ごすために換気や採光などの設備も重要です。また、敷地や建物に近づいたり、侵入したりするものを区別し、防御することも重要です。特に、企業においては商品、金品をはじめ、企業秘密を防御することは当たり前のことです。防犯についても生命、健康及び財産の保護を図る観点から共通した認識が必要と考えます。

私が建築と防犯についての関わりは事務所ビルを例にすると出入口の施錠はもちろんですが、人の通行するルートを考えて役員の通路、従業員の通路と清掃をする人の通路、配達員(荷物)の通路はセキュリティレベルの違いで使える人と使えない人の区別をし、区域的にセキュリティを掛けます。不審者のための防犯カメラの設置などもあります。しかし、建築は万一の時(火災、地震)の避難誘導は別ものです。誰もが迅速に避難できるように考えなければなりません、こんな時でもセキュリティレベルを極力上げられるような設計をする必要があります。防犯上有効な防犯ガラスや防犯フィルムは避難や救出活動に対してはかなり手強い難物です。なんと言ってもなかなか割れません。注意しなければならないことはこのような防犯ガラスを使用すると無窓の部屋になってしまうことです。無窓の部屋は消



防法に抵触し、制限をかなり受けることになります。事前に消防に確認することが必要です。防犯だけ考えれば良いのではなく防犯と建築を同時に考えて法律に則り、利用者の安全を確保することが重要です。

建築士の業務を主としています。防犯設備士の資格がありながら、防犯カメラを付けたり、防犯センサーの設置の業務は余りしていません。どちらかという国防犯対策はセキュリティ会社と役割分担をしながら、発注者の要望と各関連法規を調整する業務になり、普段は建築士(主)と防犯設備士(従)の関係で建設工事に取り組んでいます。でも、建物を設計するときは防犯設備士の観点を取り入れたものに自然となっているように感じます。また、既に出来上がった建物については防犯診断をして、お客様にあった防犯対策の設計や防犯対策の生活習慣をお伝えします。

静岡県防犯設備士生活安全協議会の一員として、静岡県警察本部から『くらしの防犯伝導士』を委嘱され、県民の皆様にそれぞれの得意の防犯技術を伝授する機会を与えられ、県民の防犯意識を高める活動をしています。私は特に一般向けに住まいの防犯対策や

地域の防犯対策を実演交えてお伝えします。企業向けには防犯診断、防犯対策についてハード面とソフト面の対策についてパワーポイントを使って、写真映像交えてお伝えします。今回の寄稿依頼に際して講演を引き受けた回数を数えたら、この10年くらいで60数回ありました。最近は少なくなりましたが、平均で年6回やっていたと思うと良くやったと感じました。講演の中には一般県民や企業関係だけでなく、警察学校や放送大学の授業などもあります。

講演の内容は一般向けを例にとると事前に『くらしの防犯伝導士』を所管している静岡県警察本部生活安全企画様をお願いして講演する地域とその周辺の犯罪状況を入手し、その犯罪に見合った内容に近いものをお話しするようにしています。そして、まずは皆さんのお住まいの地域でどのような状況か、犯罪が多くなっているか、それとも少ないか、地域で犯罪が発生しているようでしたら、自分だけでなく地域で防犯活動しようとお話しします。犯罪は少ない地域は街がきれい、落書きなどがなくて、犯罪が多いところは汚く落書きが目立つなど『ブローケンウインドウ』についてお話しします。地域で防犯活動することによって犯罪がなくなった地域の活動について事例をお話しします。地域の次は自分の住まいの廻りです。向こう3軒両隣はどうですか？お互いにタッグを組んで犯罪を未然に防ぐ工夫をお話しします。でも、やはり、自分の家は自分で守ることが重要であることをお話しします。静岡県警察本部生活安全企画様から頂いた資料を基に犯罪傾向に結び付いた建物に関するハード面のことと住民が注意しなければならないソフト面のことを中心に伝えるようにしていますが、空き巣などの侵入盗が多く発生していれば、まずは無施錠をなくし、ツーロックに心がけするように、自転車盗が多く発生していればやはりツーロックをお伝えします。また、季節的な犯罪対策について開け放しにする夏は鍵の掛け忘れやゴーヤなどのグリーンカーテンをすることで涼しいけど目隠しになってしまうことなどをつたえます。

必ずお渡しする資料として『今すぐできるお金を掛け

ない防犯対策』を配布致します。施錠のこと、照明の付け方、置き鍵をしない、など10数項目です。防犯意識を少しでも高めて頂ければよいと思っています。

今後も少しでも県民の皆様のお役立ちになればと思い頑張って活動していきます。



防犯に強い窓の格子の説明



ガラス割りの体験の様子